

かつて玖波の町には多くのお店がありました。八百屋、魚屋、米屋、酒屋、駄菓子屋、食堂、衣料品、文具や日用雑貨などなど。まち全体がスーパーマーケットだったような時代です。そんなお店に掲げられていた看板が玖波公民館に飾られ、来館者を迎えています。どこか懐かしい昭和の香りを感じさせてくれている看板の数々です。

現在の公民館の建物は、昭和49年に建てられ半世紀以上の時が流れました。公民館自体もレトロな雰囲気昭和感を漂わせています。数々の歴史を刻んできた公民館も今年の夏でいったん幕を閉じ、現在の場所の隣に、歴史を継承し未来へとつなぐ新たな施設に生まれ変わります。



昭和
レトロに
包まれて。